|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 総合分野（学校設定科目等）会計分野（財務会計Ⅰ） |
| タイトル | ビジネスプレゼンテーション　～地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう～ |
| 教材からの学び | １　プレゼンの発表技法を習得し、「導入→本体→結び」という基本に沿って、論理的に説明する力を養う。２　地域の企業が現存するさまざまな課題を解決させるために企業活動を行っていることを理解する。３　ＳＤＧｓなどの企業倫理とビジネスという視点から企業を分析し、企業の社会的責任の必要性について理解している。４　自身の社会人としての在り方について考察し、進路実現に向けた行動をとることができる。 |
| 時間数 | ４時間（講義１時間、講義とグループワーク１時間、発表準備１時間、発表１時間） |
| 授業の進め方 | １時間目（講義）・学習プリントを用いてプレゼンテーションについての基礎を指導する。・YouTube動画を用いて、優良なプレゼンの特徴を知る。・時間があればYouTubeの動画について意見共有する。時間がない場合はスプレッドシートなどで、共有する。・１時間目の最後に、学習プリントを配付し、次回の授業までに個人学習を行うように指示をする（授業時間に余裕があれば授業内で個人学習をさせてもよい）。２時間目（講義とグループワーク）・個人学習で選定した１社についてグループ内プレゼンを行い、出された企業から２社に絞り込む（グループは前回の「有価証券報告書を用いた企業分析」の２時間目の班と同じ班にする）。・絞り込まれた２社を更に分析する。その際に、前回の「有価証券報告書を用いた企業分析」において、グループで決めた企業分析方法を用いて２社を比較する。３時間目（プレゼンテーションの準備）・グループで協働して、プレゼン資料と発表の準備を行う。　（発表の準備のために１～２時間程度、増やしてもよい）。４時間目（プレゼンテーション実践）・プレゼンテーションの評価項目である「内容の明確さ」「視覚的な魅力」「プレゼンテーションスキル」に着目してプレゼンを行う。時間は４～５分とし、それ以外の場合は減点とするため、タイマーで時間を測る。・プレゼンを実施する前に、評価用紙について明確に説明をしておく。・最後に生徒に今回の気づきについて書かせる。そして、その気付きをグループで共有したり、チームズのチャット機能などを用いたりして共有する。 |

研究発表　「ビジネスプレゼンテーション」

～地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう～

授業計画

■本単元の位置付け

ビジネス探究プログラム　総括

■本単元の目標

１時間目（講義）

　・説得力のあるプレゼン技法を知る。

　・複数の優良なプレゼンからその特徴を知り、自己の発表に生かそうとする。

　・個人学習では、既習の知識を生かして企業分析することができる。

　２時間目（講義、グループワーク）

　・個人学習で絞り込んだ過程について、班員に簡潔に説明することができる。

　・ＳＤＧｓなどの企業倫理とビジネスという視点から企業を分析し、企業の社会的責任の必要性について理解する。

　・さまざまな分析を通じて、論理的・総合的に判断し、最終的な１社を絞り込むことができる。

　３時間目（プレゼンテーション準備）

　・協働してプレゼンテーションの準備をすることができる。

　４時間目（プレゼンテーションの実践）

　・他者のプレゼンから、論理的に自己の投資行動の意思決定を行うことができる。

　・この単元で新たに発見したことや、今後の生活でどのように生かしていきたいかを明確に述べることができる。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

 ・プレゼンの発表技法を習得し、「導入→本体→結び」という基本に沿って、論理的に説明することができる。

 ・企業分析の手法を理解し、複数ある手法から相応しい手法を選択し活用することができる。

【Ｂ】思考力・判断力・表現力

　・地域の企業が現存するさまざまな課題を解決させるために企業活動を行っていることを理解し、それを精選して意思決定することができる。

・プレゼンテーションが明確で説得力があり、聴衆に理解しやすい発表となっている。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

・協働的にプレゼン資料を作成しようとする態度。

 ・学習を振り返り、新たな課題を発見し、それを次の学びに生かそうとしている。

■留意事項

 ・評価はプレゼンテーション評価表紙を用いて行う。

「ビジネス探究プログラムⅡ 最終章」（１時間目）

プレゼンテーションの基礎

**１　プレゼンテーションの基本構成**

（実教出版　科目「ビジネスコミュニケーション」教科書Ｐ178より一部抜粋）

　・ビジネスにおけるプレゼンテーションの目的は、相手に情報を伝えることではなく、伝えた内容を理解してもらい、「契約する合意を得る」「商品を購入してもらう」などの行動を引き出すことにある。明確で分かりやすく、説得力のあるプレゼンテーションの基本構成を身に付けよう。

　【プレゼンテーションの基本構成】

|  |  |
| --- | --- |
| 導入（20％） | 導入では、プレゼンテーションのテーマやポイントを紹介して、聞き手の興味や関心を引き出す。聞き手の心をつかもう。 |
| 本体（70％） | 本体では、プレゼンテーションで、伝えたいことや明らかにしたいことを、統計資料・事例・先行研究などの客観的な根拠を使って提示し、相手を説得する。この際、伝えたい内容を３点ほどにしぼりこみ、構造的に組み立てることが必要となる。主張の柱を立てよう。 |
| 結び（10％） | 結びでは、プレゼンテーションのテーマやポイントを再度くり返しながら、簡単にまとめを行う。聞き手の記憶に残るインパクトを与えよう。 |

**２　プレゼンテーションの実践**

（実教出版　科目「ビジネスコミュニケーション」教科書Ｐ183より一部抜粋）

　・ビジネスプレゼンテーションの実践において、与えられた時間を厳守することは当然として、立ち居振る舞い、話し方などがプロフェッショナルであることも望まれる。

　（１）服装、姿勢がきちんとしていること。

　（２）聞き取りやすい話し方、声量であり、手元のメモをただ読むのではなく話しかけるようにすること。

　（３）聴衆のほうを向いて、アイコンタクトができること。

**３　素晴らしいプレゼンテーションを見てみよう。その後、共通点について意見共有しよう。**

・プレゼンテーション高校生チーム2019年度日本一！/大阪三国丘高等学校(日本政策金融公庫高校生ビジネスプラン・グランプリ）　約10分

　　　<https://www.youtube.com/watch?v=chF7Z137h0Q>

・【スタートアップJr.アワード2020】李 禮元（小5）東京都「漢字mission」　約８分

　　　<https://www.youtube.com/watch?v=-fvhNHsGs0Y>

小学生・中学生による社会課題解決の優れたアイデアを競うプレゼン大会『スタートアップJr.アワード2020』ファイナリストの素晴らしいプレゼン！

・Hope invites | Tsutomu Uematsu | TEDxSapporo　TED×Talks　約21分

　　　<https://www.youtube.com/watch?v=gBumdOWWMhY>

　　　株式会社　植松電機　植松努　社長　「思うは招く」　グッとくるプレゼン！

「ビジネス探究プログラムⅡ 最終章」（学習課題）

ビジネスプレゼンテーション　「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」個人学習

　皆さんは「ビジネス探究プログラムⅡ」の授業で今までにＳＤＧｓ、株式、ＥＳＧ投資、人口のピラミッドから見たビジネスチャンス、未来の技術、有価証券報告書を用いた多様な視点からの企業分析など、多くのことについて学んできました。そして、今回は最終章ということで、今まで学んだ知識を総動員して、地元企業の社員になったつもりで自社をＰＲし、投資家の皆さんに自社の株式を模擬購入してもらえるようにプレゼンテーションを行ってもらいます。様々な視点から企業を分析し、自社をＰＲしてください。下記の手順に従って準備をしてください。

ここからは個人学習です。２社を分析し、最終的に１社に絞ってください。

１　別紙「愛知県・名古屋市を本社に置く企業一覧」を見て気になる企業を２社決めましょう。

　　　１社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　２社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　「Yahoo ファイナンス」を使い、この２社の現在の株価や企業情報、株主優待、配当等について調べましょう。

　　　パソコン→Yahooファイナンス→検索バーに企業名を入れる→各企業のページの株価が表示されているすぐ下に、「配当」「企業情報」「株主優待」等があるのでそれを参考にする。

|  |
| --- |
| １社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・　　月　　日現在の株価（　　　　　　　　　）円・企業情報・株主優待、配当等・その他 |
| ２社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　）・　　月　　日現在の株価（　　　　　　　　）円・企業情報・株主優待、配当等・その他 |

３　選択した２社の事業内容、ＳＤＧｓの取組、未来へ向けた取組（世の中の課題を解決する取組など）などを企業ホームページや有価証券報告書を使って調べましょう。

|  |
| --- |
| １社目：企業名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）1. 事業内容、経営方針、経営理念など
2. ＳＤＧｓや社会貢献活動などの取組
3. 未来へ向けた取組（世の中の課題を解決する取組など）
4. その他、この企業の特徴的な取組、ＰＲポイントになること
 |
| ２社目：企業名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（１） 事業内容、経営方針、経営理念など（２） ＳＤＧｓや社会貢献活動などの取組（３） 未来へ向けた取組（世の中の課題を解決する取組など）（４） その他、この企業の特徴的な取組、ＰＲポイントになること |

４　ここまでの分析で、２社から１社に絞ってください。

|  |
| --- |
| あなたが選んだ１社（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 選定した理由 |

年　　組　　　番　　氏名

「ビジネス探究プログラムⅡ 最終章」（２時間目）

ビジネスプレゼンテーション　「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」グループ学習

１　個人学習で１社に企業を絞りました。グループでその企業を出し合い、なぜその企業にしたのかグループ内プレゼンをしてください（１人３分程度）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 選んだ企業 | その理由（メモ） |
| さん |  |  |
| さん |  |  |
| さん |  |  |
| さん |  |  |
| さん |  |  |
| さん |  |  |

２　グループ内プレゼンでまずは２社に絞ってください。

|  |
| --- |
| グループで選んだ企業１社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| グループで選んだ企業２社目（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

３　前回の授業「有価証券報告書を用いた企業分析」において各グループで決めた企業分析方法を用いて２社を比較してください。

　　※「有価証券報告書を用いた企業分析」の単元を行っていない場合は割愛する。その場合はインターネット等を利用して２社を分析する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業分析に使う分析方法 | １社目（　　　　　　　　　　　　　　　） | ２社目（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 例：「経営方針」から企業の経営方針を分析する。 | 例：経営方針「すばらしい夢と感動・喜び・そしてやすらぎを提供する」 | 例：経営方針「情報で未来を変革し、人々の幸せを創る」 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　年　　組　　　番　　氏名

４　その他、この２社について分析、比較したいことがあれば自由に書いてください。

なお、財務分析を行う場合は、次の①または②を参考にして分析してください。

① あらかじめ算出された財務指標を分析に用いる場合

有価証券報告書第一部→企業の概況→主な経営指標の推移→「提出会社等の経営指標」を用いる（連結財務諸表については科目「財務会計Ⅱ」にて深く学習するため）。

② 企業の財務諸表から自身で数字を算出し、分析する場合

有価証券報告書第５部→経理の状況→（２）財務諸表等→貸借対照表・損益計算書を用いて分析する。連結財務諸表は科目「財務会計Ⅱ」で深く学習するので今回は使わない。以下に科目「財務会計Ⅰ」で学習する財務指標の一部を参考に掲載する。

|  |
| --- |
| ＜財務会計Ⅰの教科書より＞**１　安全性分析**（１）流動比率・・１年以内の支払い能力をみる。200％以上が望ましい。　　　　　　　　　**流動資産÷流動負債×100（％）**（２）自己資本比率・・長期の支払い能力をみる。この比率が高いほど、企業の財務体質は安定している。50％以上が望ましい。　　　　　　　　　**自己資本（純資産）÷総資本（自己資本＋他人資本）×100（％）**（３）固定比率・・固定資産が自己資本でどれだけまかなわれているかをみる。100％を超えている場合は負債に依存しているので、資金繰りに注意する必要がある。100％以下が望ましい。　**固定資産÷自己資本×100（％）****２　収益性分析**（１）売上高純利益率・・売上高に対してどれだけの当期純利益を上げているかをみる。高いほど収益性が高い。　**当期純利益÷売上高×100（％）****３　成長性分析**（１）売上高成長率・・前期の売上高に対して、当期の売上高がどれだけ伸びているかを判断する指標　**（当期売上高－前期売上高）÷前期売上高×100％**（２）純利益成長率・・前期の当期純利益に対して、当期の当期純利益がどれだけ伸びているかを判断する指標**（当期純利益－前期純利益）÷前期純利益×100％** |

|  |
| --- |
| １社目（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２社目（　　　　　　　　　　　　　　　） |

「ビジネス探究プログラムⅡ 最終章」（３時間目）

ビジネスプレゼンテーション　「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」プレゼン準備

１　前の時間に２社を分析しました。総合的にこの２社を比較し、最終的に１社に絞ってください。

|  |
| --- |
| 最終決定企業： |

２　グループで協力して、その企業の社員になったつもりで自社をＰＲし、投資家の皆さんに自社の株式を購入してもらえるように魅力的なプレゼンテーションをしてください。プレゼンテーションの時間は１班４分～５分以内とします。４分に満たない場合及び５分を超えた場合は減点となりますので注意してください。また、発表は全員が発表できるように工夫して役割分担してください。

「ビジネス探究プログラムⅡ 最終章」（４時間目）

ビジネスプレゼンテーション　「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」発表会

**発表会のルールと評価について**

１　ルール

１班４分以上５分以内とします（この範囲外の場合は班全体で10点の減点とする）。

　　　少なくてもいいので、メンバー全員が発表してください。

発表が終わったら大きな拍手をし、発表した班を称えましょう。

２　評価について

次ページの評価用紙にて評価を各項目について３段階で評価してください。

普通を２とし、とても素晴らしければ３を付けてください。

|  |
| --- |
| 【評価の観点】（１）内容の明確さプレゼンテーションの内容が分かりやすく、論理的に構成されているかどうかを評価します。情報が整理されていて、理解しやすかったかを点数化してください。（２）視覚的な魅力スライドや資料のデザインが魅力的で、視覚的に引きつけるものであるかを評価します。色使いやフォント、画像の使用が効果的かどうかも含まれます。（３）プレゼンテーションスキル発表者の話し方やボディランゲージ、聴衆との対話の仕方を評価します。自信を持って話し、聴衆を引き込む能力が重要です。 |

３　グループ内評価について

　　　グループ内で最も貢献したメンバー、頑張ってくれたメンバーを２人選出しＭＶＰとして評価用紙に記入してください。評価用紙を提出する直前に書いてください。

４　投資について

一人100万円の資金を持っていると仮定します。プレゼンを聞いて、あなたが投資をしたい企業を選び、10万円単位で投資をしてください（自分の企業には投資をしない）。

「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」評価用紙

あなたの班（　　　　）班

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 班 | 企業名 | 評価（数字に〇を付ける） | 合計点 | 投資額 |
| １班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ２班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ３班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ４班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ５班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ６班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |
| ７班 |  | （１）内容の明確さ（　１・　２　・３ ） | 点 | 万円 |
| （２）視覚的な魅力（　１・　２　・３ ） |
| （３）プレゼンテーションスキル（　１・　２　・３ ） |

**あなたの班のＭＶＰ**

**（　　　　　　　　　　　）さん　　（　　　　　　　　　　　　）さん**

「地元企業をＰＲし、自社の株式を購入してもらおう」の単元で新たに発見したことや、今後の生活でどのように生かしていきたいか等を記入してください。

　年　　　組　　　　番　　氏名